

# 代表者会議【当日資料２－１】

## 茅ヶ崎市自立支援協議会 報告書

件 名	令和６年度 第４回 就労・生活支援部会
日 時	令和７年２月２６日（水）１６：００～１７：３０
場 所	地域生活支援センター 元町の家
事 務 局	地域生活支援センター 元町の家
部会委員	<p>■ 高野 宏章 部会長 （ちがさきエボシライン）</p> <p>■ 鈴木 悠哉 副部会長（プラーナ湘南）</p> <p>■ 青木 暢彦 委員 （茅ヶ崎市障害者施設連絡会）</p> <p>■ 渡部 司 委員 （湘南地域就労援助センター）</p> <p>■ 菅 利光 委員 （神奈川県立茅ヶ崎支援学校）</p> <p>□ 三浦 紗恵美 委員 （神奈川県立茅ヶ崎高等学校）</p> <p>□ 肥後 麗子 委員 （神奈川県立茅ヶ崎高等学校）</p> <p>■ 和田 由美子 委員 （茅ヶ崎市社会福祉協議会障害者生活支援センター）</p> <p>■ 鈴木 健太 委員 （茅ヶ崎市障がい福祉課）</p> <p>■ 佐藤 右輔 事務局 （地域生活支援センター 元町の家）</p> <p>■ 久保田 祐子 事務局 （地域生活支援センター 元町の家）</p> <p>■ 池元 佑輔 氏 （オブザーバー／茅ヶ崎市障がい福祉課）</p> <p>※ ■出席 □欠席</p>
議 題	<p>1. 「職場体験実習」を地域におろす</p> <p>2. 進路に関する普及啓発</p>
検 討 内 容	<p>1. 「職場体験実習」を地域におろす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>茅ヶ崎市は、就労支援事業所同士の横の繋がりが無い。</li> <li>市内の就労支援事業所に対し、茅ヶ崎市自立支援協議会の説明も踏まえて協力を呼び掛ける。</li> <li>４月末に部会を開催し、その後、就労支援事業所の連絡会を開きたい。</li> <li>３月から市内の事業所回りを開始。メンバーは、高野部会長、鈴木副部会長、事務局で回る。</li> </ul> <p>2. 進路に関する普及啓発</p> <p>～「事業所のつどい（寒川町）」と「ふじさわ障がい者お仕事フェア（藤沢市）」の見学を振り返る～</p> <p>「事業所のつどい（寒川町）」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出展ブースは、主に児童系と日中活動系が参加。就労移行支援のブースがなかった（町内に事業所が無い為）。開催規模は小さい目。制度説明にメリハリが無いように感じた（イメージと違っていた）。</li> </ul> <p>「ふじさわ障がい者お仕事フェア（藤沢市）」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会場は、物販ブースと説明ブースで構成されていた。物販ブースと説明ブース両方をワンフロアでは対処できない為。</li> <li>制度の説明会場と事業所のブースが同じフロアだったので、話が聴き取りづらいように感じた。</li> </ul>

## 代表者会議【当日資料２－１】

- ・ 就労選択支援事業に関する制度説明がおこなわれ、就労選択支援事業に対する関心が強かった印象あり。
- ・ 来場者の動線を考えて会場のレイアウトを考える必要性を感じた。
- ・ 藤沢では今回、初めてワークショップがおこなわれ、参加者の7割がワークショップへの参加に繋がった。
- ・ 来場者数は、５４１名。ブースによって人数はまじまじ。
- ・ 参加事業種別として、就労移行支援と就労継続支援Ａ型、Ｂ型。
- ・ 来場者について、特に（市内在住、市内の事業所利用者等の）対象を設けなかった。中学生からの相談もあった。
- ・ 今回で３回目の開催。３６事業所が参加。
- ・ 予算について、去年は５００万円、今年は３００万円。

### ～茅ヶ崎市として～

- ・ 藤沢市のような形を目指したい。
- ・ 市役所を会場とする場合、物販とブースが離れてしまう。
- ・ 茅ヶ崎市の場合、就労関係だけだと寂しい。事業所をどこまで広げるか。当初は、引きこもりも対象としていた。生活介護はどうするのかなど、どの事業形態まで声を掛けるかは、精査が必要。就労系と合わせて、湘南地域就労援助センター、ハローワークのブースも必要では。計２０ブース程を想定。
- ・ 参加者の対象については、高校生以上とする。中学生も含めるか（市内の中学校は計１３校）。チラシを配るくらいであれば良いのでは。取り敢えず高校までとしてはどうか。中学校を対象とする場合、校長会での説明が必要となる。中学生や小学生について、ゆくゆくは対象としても良いのでは。今回初めての試みなので出来るだけ人を集めた方が良いのでは。中学校、小学校については、チラシの配架のみでも良いのでは。

### ～来年度の活動に向けて（課題の洗い出し、スケジュールリング他）～

#### 予算

- ・ チラシ代として、１，０００～２，０００枚で５，５００円程度を想定。
- ・ 配布先は、１２０か所程。１か所１０～２０部程を配布。
- ・ 配布方法として、郵送、または、チラシのデータを送って各自で印刷してもらってはどうか。高校や大学であれば配りに行ける。コミュニティセンターや地域包括支援センターであれば市から配布が出来る。クリニックはどうするのか。利用者の通院同行の際に持って行ってはどうか。就労系事業所については、今後発足を予定している就労支援事業所連絡会経由で配布。
- ・ チラシを配り始める時期は、７月とする。７月１５日（火）に茅ヶ崎支援学校でイベントが開催されるので、それに合わせて周知できると良い。
- ・ パンフレットの作成者はどうするか。生活介護のfunchyにお願いしてはどうか。チラシ作成の依頼先として、市内就労継続支援Ｂ型事業所か、funchyか、ちがさきエボシラインで要検討とする。
- ・ 事業所から出店料は集めない。

## 代表者会議【当日資料２－１】

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就労選択支援事業等の制度説明は、市で対応。</li> </ul> <p>今後の検討事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ チラシの内容。</li> <li>・ 助成金はどうするのか。（助成金を使わず）１回目をやって判断してはどうか。実績を積んでから検討しても良いのでは。宝くじについては、事務手続きが煩雑だし、商標を載せなければならないなど制約もある。</li> <li>・ 開催日は、９月２７日（土）を予定。開催時間は、１０：３０～１６：００を予定。</li> <li>・ 開催名称＝ちがさき就労支援事業所のつどい（仮）</li> </ul>
課題・懸案事項	